

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	26000012	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	健康長寿のための普遍的代謝調節経路の包括的・発展的研究		
研究代表者名 (所属・職)	門脇 孝 (東京大学・医学部附属病院・教授)		

【平成29年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(評価意見)

本研究においては、アディポネクチン受容体1及び2の立体構造を明らかにしたこと、アディポネクチン受容体及びその活性化が内膜肥厚改善や抗糖尿病作用に関与することを見いだしたこと、その後、腸炎発症マウスでは栄養素の質の違いだけで生存率を低下させること、アディポネクチン受容体1及び2が脂質を加水分解する機能を持つことを示し、順調に研究成果を上げている。

しかし、栄養素の黄金比の解析、カロリー制限による寿命延長のアディポネクチンやその受容体と関連したメカニズムの解析及び当初の研究目的、研究計画である有機的関連付けに進展の遅れ等が認められるため、進展していない部分については今後努力が必要である。